



## ユネスコ憲章（前文）

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

第 97 号 2017・3・29



広島ユネスコ活動奨励賞受賞者と亀井会長（右端）

## 平和へ一歩

# 思い出に残る新春フェスタ2017

**活動奨励賞** 学校部門3校と社会部門5団体を表彰

**コンサート** 韓国人歌手 車さん、朴さんが熱唱

広島ユネスコ協会活動の1年の始まり、「ユネスコ新春フェスタ」は、19回を迎えて1月28日、広島市文化交流会館で開かれました。地域貢献、国際理解、協力、交流などの活動を奨励する、広島ユネスコ活動奨励賞の表彰式と新春コンサートを組み合わせた新春恒例の行事。

第1部の表彰式は、亀井章会長が開会挨拶、選考委員長の由井義通・広島大学大学院教授（教育学研究科）が活動の意義を讃えながら講評（2ページに掲載）。続いて表彰状とブロンズ盾が、亀井会長から学校部門3校と社会部門5団体へ贈られました（受賞校・団体名、活動内容は2ページに掲載）。

表彰式に続いて第2部「新春コンサート」。出演は韓国大邱市出身で現在、広島市内で活躍中の声楽家・ソプラノの車景實（チャキョンシル）さんと、朴完卿（パクワンキョン）さんの2人。大邱、広島両ユネスコ協会の16年にわたる姉妹提携、交流の縁で出演が実現しました。

ステージにはまず華麗なチマチョゴリ姿の車さんが登場、「千の風になって」で始まり、次に朴さ

んが「花は咲く」を、続いて「平城山」などの日本の歌が歌われ、韓国の歌曲「アリラン」が演奏されました。そして車さんがソプラノの本領を発揮したのは、オペラ「蝶々夫人」の aria 「ある晴れた日に」の熱唱でした。イタリア民謡の「オオソレミオ」や「フニクリ フニクラ」を楽しく歌って、最後はオペラ「椿姫」から「乾杯の歌」で盛り上がりフィナーレとなりました。会場に響き渡る歌声に参加者一同、すっかり魅了された1時間でした。

第3部「祝賀パーティー」は、古田碩永副会長の挨拶、藤井正一副会長の乾杯の発声で会食となりました。松岡盛人副会長の巧みな司会で進むなか、終始、和やかな雰囲気の中に世木田寛子教育部長の熱のこもった、爽やかな挨拶で幕を閉じました。

こうしてユネスコ会員と受賞団体の皆さんとの交歓、交流の多い新年の1日が過ぎ、今年も思い出に残る「新春フェスタ」となりました。

（文化部長 井尾義信）

## 第19回

## 広島ユネスコ活動奨励賞

## &lt;学校部門&gt;

○広島市立中島小学校 校長 前重 幸美  
「ヒロシマの原爆体験を感性の原点とした平和教育の推進」

世界平和を作り上げる一員となる自覚の育成、国際交流のできる人間作りを目指した教育をし、広島市内の小学校にも発信し続けている。

○広島市立庚午中学校 校長 原之園 和弘  
「平和を願う気持ちを伝えるアニメ制作」

被爆者の体験談を題材としたアニメ制作活動を行う美術部、その他の分野においても戦争の悲惨さと平和を維持することの重要性をつかむ教育を行っている。

○広島市立広島商業高等学校 校長 土井 圭太  
「広島市商ピースデパートによる平和貢献」

授業の一環としての「ピースデパート」を実施し、その収益金で長崎と連携をとり、平和交流、平和企画展示、平和モニュメントの制作などを行っている。

## &lt;社会部門&gt;

○宇品みなと太鼓 代表 水坂 邦昭  
「和太鼓演奏による伝統文化の継承と青少年の健全育成」

小中高、社会人と幅広い年齢層の活動。小中の

PTA行事、神社、留学生会館などで演奏を披露し、異文化交流、伝統文化の継承に寄与。

○赤道ギニアを支援する会 代表 山藤 寿美子  
「赤道ギニア共和国の子どもたちと母親の支援」  
会員が持ち寄った衣類、手芸品などでフリーマーケットをし、その収益金をギニアで通学できる子どもを増やす活動をしている。

○ネパール&日本 自然と平和の会 代表 カルキ パラメソール  
「平和と自然の大切さを広げる」

ネパールと日本の国際交流をしている。ネパールからは自然、文化の紹介がなされ、日本からは、原爆や核の問題の教育、地震復興支援活動をしている。

○ヒロシマを語り継ぐ教師の会 代表 杉山 武郎  
「被爆・戦争の体験や実相を次世代に語り継いでおこう」

より正確で公正な平和教育の必要性を感じた教師たちの活動。体験や聞き取り調査を基に証言活動、書籍の発刊を世界に向け行っている。

○広島市よい本をすすめる母の会 代表 柴田 幸子  
「親子で本を楽しみ、本の楽しさを子どもたちに！」  
「本は人が作った最大の文化」をモットーに、公民館、図書館で読み聞かせ、紙芝居、言葉遊びなどの活動を50年続けて行っている。

(報告・教育部会長 世木田寛子)

## 講評(抜粋)

## 選考委員会委員長

## 広島大学大学院教育学研究科教授 由井 義通

それでは、ユネスコ活動奨励賞の講評をさせていただきます。

学校部門では、中島小学校の活動は、学年ごとや全校児童で平和教育の推進のため、被爆体験者のお話や、平和集会、子どもの碑慰霊祭、平和のつどいなどのさまざまな活動を「平和プログラム」として組み立てて実践され、継続されていることが評価されました。

庚午中学校の活動は、毎年広島で開催される広島アニメーションフェスティバルに合わせた「ヒロシマの心を世界に」において、「平和や広島をテーマにしたアニメーション作品の上映」で、継続的に作品を発表する活動を行っていることが評価されました。1作品で400~500枚という労作であることと、作品に込められた平和への思いを広く発信することにおいて重要な活動と思います。

広島市立広島商業高等学校の「広島市商ピースデパート」の活動は、ビジネスの体験活動ばかりでなく、ビジネスを通じた平和貢献を目的としており、同じ被爆地の長崎商業高等学校との交流や広島市・長崎市の平和団体への寄付という活動へと展開していることは、非常に高く評価できます。

次に社会部門の、「赤道ギニアを支援する会」と「ネパー

ルと日本 自然と平和の会」の活動ですが、ギニアの支援活動は、子供服や文房具などを毎月送り、公民館での写真展の企画、スタディツアーというボランティア的な活動が評価されました。また、ネパールの支援活動は、教育支援として教員の指導改善と被爆地広島をネパールの人々に知ってもらう活動、ネパールを紹介する国際交流活動に加え、2015年の大地震災害からの復興支援にも活動を広げているなどの活発な活動が評価されました。

「宇品みなと太鼓」の活動は、和太鼓を通じた外国との文化交流や地域の学校行事と連携されていることが評価されました。和太鼓は海外の日系人社会でも人気があり、今後は、若い参加者の継続的な参加に期待したいと思います。

「ヒロシマを語り継ぐ教師の会」の活動は、教員経験者の方々によって被爆体験や戦争体験の継承をめざして、体験者の証言を聞き、勉強会や学校訪問での証言活動を継続されていることが評価されました。年間40~50回の学校訪問という活発な活動は、ぜひ次の世代に引き継いでほしいものです。

「広島市よい本をすすめる母の会」の活動は、親子で本を楽しみ、読書の楽しみを子どもたちに知ってもらうため、子ども図書館の利用と母親の皆さん方の研修会等を行ってこられたもので、ユネスコの理念の「Education for All」(人類みんなに教育を)という活動と連携していると評価しました。読書を通じた国際理解や多文化理解、あるいは言葉の文化の継承への発展に期待しています。

(まとめ・事務局 内田一士)



広ユ協総会5月開催へ

広島ユ協会平成29年度総会は、5月13日(土)午後2時から、国際会議場研修室で行われる予定。「人の心の中に平和のとりでを」との、ユネスコ憲章前文の精神に基づき、平和・教育、青少年育成・文化推進、国際協力活動を討議・決定します。

好評のうちに青少年語学講座終了

— 平和公園での高校生ガイドに大人気 —

平和文化都市として、外国人にどうおもてなし、広島を伝えていくか。「高校生☆英語でガイド」、「平和公園を英語でガイド」、「初心者のためのハンゲル講座」の3つの語学講座を開催しました。

特に、「高校生☆英語でガイド」(3回)は夏休み期間中に開催し、定員を超える申し込みがありました。講師はひろしま通訳・ガイド協会の柏博子さん、青年は同協会の日南田美佐子さんをお願いし、初めに平和公園を中心に広島を外国人に英語でどのように説明したらよいかをグループ学習しました。そして、実際に現地で案内。現地では、それぞれ広島修道大学の留学生(ニュージーランド・アメリカ)をゲストに迎えて楽しく茶話会などして交流を深めました。

「初心者のためのハンゲル講座」(5回)では、講師に韓国語講師の金淑姫さんをお迎えして、日常会話など学び、最後に韓国料理を作って会食を楽しみました。(青少年育成部会長 國田 繁)

第170回ユネスコサロン

ユネスコサロンは3月18日(土)、午後2時から、国際会議場研修室で、講師に児玉賢司・広島県葬祭業協同組合専務理事(広ユ協理事)を迎えて、「人生たそがれで考えておきたいこと」と題して開かれました。

杉並ユ協・ヒロシマ学習

第19回目となる東京・杉並ユネスコ協会青年部の平和学習・広島スタディツアーが今年も行われ、広島ユ協は3月27、28日の両日、案内のお手伝いに立ちました。

にいかわ 新川貞之さん ことし100歳

(当協会文化部会理事)



当協会の新川貞之理事は、今年8月、100歳を迎えられます。新川さんは、戦後まもなく広島県の教育畑で、社会教育の面からユネスコの普及など、民主国家樹立に活躍されました。1973年には広島ユネスコ協会発足に尽力され、主に文化担当役員として協会発展の礎を築かれました。

1984年の当協会主管の民間ユネスコ運動世界大会の開催時、中核として成功に導かれたこと、1988年北京ユネスコクラブ協会訪問団員とし訪中、初の姉妹交流の緒を切られたことなど、大きな功績を挙げられております。

今なお現役として、会議において、豊富な経験のもとに毎回貴重なご意見をいただいております。今後とも、我々後輩をご指導いただくことをお願いするとともに、みんなでご長寿を喜びたいと思います。

(副会長・古田碩永)

理解セミナー・街頭募金活動

昨年末12月23日に、広島市青少年センターで高校生国際理解セミナーが開かれました。午前の部の講演に次いで、体験発表では、「広島市商ピースデパート10年間の取り組み」(広島商業高等学校)、「2016広島市大邱広域市青少年交流事業報告」(広陵高校、修道高校、なぎさ中学校)から報告がありました。続いて、広島大学附属中・高校の藤原隆範教諭指導のもと、「私の夢～こんな人に私はなりたい」といったテーマで意見を交換しました。

午後からは、市内八丁堀交差点の街頭で、コアクション(世界寺子屋運動募金活動)を行い、この日に寄せられた募金76,438円は、12月26日に日本ユネスコ協会連盟あてに送金しました。

<会員募集>

ユネスコの精神に賛同し、協会の活動に参加したり、支援をしていただける方を募集しています。年会費3,000円。但し、10月以降の加入の場合は1,500円。申込先:森木090-7132-2284又は、広島ユネスコ協会HP入会案内へ

日誌

<p>〈'16年12月〉</p> <p>23日/高校生国際理解セミナー・コアクション (青少年育成、教育部会)</p> <p>〈'17年1月〉</p> <p>6日/新春フェスタ打合せ (教育部会、文化部会)</p> <p>10日/機関紙打ち合わせ</p>	<p>(広報部会)</p> <p>28日/広島ユネスコ新春フェスタ活動奨励表彰式 (教育部会)</p> <p>31日/機関紙96号発送準備 (広報部会)</p> <p>&lt;2月&gt;</p> <p>16日/正副会長会議(事務局)</p> <p>19日/今年度の反省と事業計画検討(教育部会)</p>	<p>21日/今年度の反省と次年度計画策定(国際部部会)</p> <p>26日/理事会(事務局)</p> <p>機関紙打ち合わせ(広報部会)</p> <p>&lt;3月&gt;</p> <p>2日/平成29年度大邱の日記念イベント準備会議 (国際部会)</p> <p>11日/青少年育成部会議</p> <p>18日/第170回ユネスコサロン</p>	<p>ン(文化部会)</p> <p>27日/杉並ユ協スタディツアー支援 (平和・世界遺産部会)</p> <p>28日/杉並ユ協スタディツアー支援 (平和・世界遺産部会)</p> <p>29日/機関紙第97号発送準備 (広報部会)</p>
---	--	--	--